

神のおとずれ

日本聖公会 神戸教区報



2017年
4月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<http://www.nskk.org/kobe/>

発行責任者
司祭 芳我秀一

印刷所
文明堂印刷所

復活の恵み

パウロ 瀬山 公一



東を破ったこと自体はもちろん罪です。しかしそれだけではありません。

神と人
天地創造の初めに神は人に「善悪の知識の木からは決して食べてはならない。食べると必ず死んでしまう」と言われました。これは神が人に与えた最初の掟です。しかし彼らは掟を破って食べてしまいます。神との約

彼らは、神が「食べると必ず死んでしまう」といわれた言葉を疑ったのです。蛇にそそのかされたとはいえ、最後は自分で決めたこととです。さらに体を覆い、木の間に隠れて、心の中で神との間に隔ての壁を作ってしまった。そして責任転嫁して、次第に神から離れていきます。神との信頼関係にひびが入ったのです。掟を破ったということではなく、神を信じ仕えること

が出来なかったことが、最大の罪です。イエスが荒野で四十日間断食して祈られた時も、サタンは神から引き離そうとして誘惑しますが、無駄でした。イエスによつて神と人との壁は崩され、扉は開かれたのです。

新しい掟

最も大切な掟は、全身全霊全力を込めて神を愛し、隣人を自分のように愛することです。更にイエスは「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」と命じられました。それは言葉だけではなく、行いにも現われてくることです。そして一番難しいのは、思うことではないでしょうか。心か

ら一点の曇りもなく、すべての人を愛しているなどと言えば、それは嘘になります。せめて出会った人々を憎まないでいるようにと思っても、それすら難しいことです。だからと言って努力を怠ることは許されません。努力をすることによって、努力をすることがいかに大変なことなのか分かります。イエスはわたしたちに、その大変なことをしてくださったのです。祈り書261頁の教会問答に「(11問)あなたはこの戒めを、人の力で守られると思いますか。(答)人の力だけでは守られません。神の助けが必要です」とあります。まずは神の助けを祈り求めることから始まるのです。

神の愛

イエスは、わたしたちと同じ肉体を取って、人となられました。人としてその命を懸けてわたしたちを愛し、神の愛を示されました。

わたしたちには不可能と思えることを、代わりにしてくださったのです。十字架の死によって、救いが完成されたのです。この十字架によって、神と人との信頼関係が回復したのです。神に背いたために、引き裂かれた関係は、十字架によって修復されたのです。それがキリストの購いの死の意味なのです。ただし突然「あなたの罪は赦された」と言われても、信じられないし、実感が湧かないかもしれません。無料だとあまり有難味がありませんし、高価なものほど大切にします。しかし、本当の価値は、値段や見た目ではありません。しかし、わたしたちに与えられた救いは、無料ではありませんでした。人となられたイエスという、何よりも大きな代価を払って、手に入れたものであることを忘れてはなりません。それが復活の恵みなのです。

(神戸聖三カエル教会牧師)

日韓の架け橋・儒学者「姜沆(かんはん)」
村上恒夫さん(大洲聖公会信徒)
特別賞受賞!

去る2016年11月10日、愛媛県大洲市在住の作家、村上恒夫さん(82歳)は、豊臣秀吉の朝鮮侵略の際に日本軍の捕虜となり、朝鮮半島から伊予大洲まで連行され日本に儒教を伝えた儒学者「姜沆(かんはん)」の研究に功績があったとして、韓国の新聞社や出版社の社長らでつくるソウル言論人クラブから特別賞を受賞されました。(写真・向かって右端が村上恒夫さん)



村上恒夫さんは、代々続く聖公会信徒で、元は大洲市役所に勤務される公務員でしたが、途中で退職され、作家としての道を歩み始められました。地元愛媛のキリスト教に関する研究はもとより、特に「坂本龍馬」の研究で知られ、龍馬に関する講演は数多く、神戸教区でも、教区婦人会大会(1993年)、教役者修養会(2013年)、また日本聖公会歴史研究会(2003年)で講演していただきました。

また『坂本龍馬脱藩の道を探る』(新人物往来社)の著書も出版されています。1980年代に入ると儒学者「姜沆」について研究を進められ、1999年に『姜沆 儒教を伝えた虜囚の足跡(明石書店)』を出版されました。姜沆研究を始めるきっかけは大洲市が編纂した『大洲市誌』の中の「藤堂高虎」

の項に出てくる、わずか九行の姜沆の記事に触発されたとのことでした。そして同書は昨年、韓国でも翻訳出版されて「韓国人よりも百倍姜沆に詳しい」との評価を受けられて今回の受賞となりました。この特別賞は約30年前に創設されたのですが、外国人が受賞するのは初めてのことです。

「姜沆(かんはん)」(1567~1618年)は代々高名な儒学者の家に生まれ、29歳で博士となり官職を歴任した朝鮮の儒学者です。ところが、1597年、豊臣秀吉軍の二度目の来襲によって生活が破壊され一族で避難中に、当時伊予州(現・愛媛県)の大津(現・大洲)地方を支配していた藤堂高虎の水軍に捕虜とされ大津城(現・大洲城)に幽閉されました。後に京都伏見に移されますが、帰国するまでの3年間、姜沆は不自由な幽閉生活の中で見聞きしたことや日本の内情などを詳しく書き留め、後にこの記録が『看羊

録(かんようろく)』として残されました。また幽閉中、大洲では城下の老僧と漢詩の交換をしたり、また伏見では日本の近世儒学の基礎を築いた儒学者藤原惺窩(せいか)に儒教を伝えて、その後の日本の教育・文化の発展に大いに貢献されたのです。



(姜沆)

「看羊録」によれば、姜沆は目の前で幼い我が子二人が見ています。おそらく日本軍に虐殺されるのが本人に対する怒り、憎しみが筆舌に尽くせないものがあったでしょう。しかし、彼は誠心誠意日本人に儒教を伝えてくれました。儒教は徳川時代の教養となり、社会に秩序を与え、寺子屋でも教えられて識字率向上に貢献したと言われています。姜沆は囚われの身でありながらも日本に輝かしい足跡を残したと云えるでしょう。

今日の日韓関係における姜沆の持つ意味

近年、韓国と日本の関係は歴史認識の問題を中心として決して良好な関係とはいえませんが、この質問に対して村上恒夫さんは次のように応えています。「姜沆は家族を殺され日本に連行されたことを恨んでいるが、自分を助けてくれた大洲の人々に感謝し著書に『日本人の中にかくも至誠の人があるのか』と書いています。大洲城下の僧と交流し、お互いをたたえ合う場面もある。学者魂というか、「教え下さい」と言われると教えずにはいられない。それが学者・教育者の本性なのだろう。日韓両国は姜沆に倣い、学問でつながることができる。双方が『素晴らしい』とたたえることができる人物で、姜沆を通じて仲良くなれると思う。」と。

(司祭 芳我秀二)

堅信前の 陪餐プログラム

私は十二歳のときに同級生たちと、堅信準備を受けました。当時は文語の「公会問答」が教科書です。

そして、一番最初の「あなたの教名は何と言いますか？」からつまずきました。自信を持って「キリスト教」と答えたのですが、「違う！君の教名はパウロだ！」と、一から指導を受けました。一つ一つが大きな、そして新鮮な驚きでした。信徒としての務めを習い、その務めを果たすため、陪餐に与り、養いを受ける。それがクリスチャンとしての自覚のスタートとなりました。

この頃までは英国で国教会であった名残でしょうか、幼児期の洗礼が、堅信の前提にあり、それが公会問答にも現れていました。

昨年6月に行われた日本聖公会第62定期総会において、祈祷書の一部改正が確定し、洗礼を受けた信徒は、聖餐にあずかることができようになるようになりました。

急激な変化と思われる方も多いでしょうが、全聖公会的には数十年前から奨励されてきたことです。

イエス様が、私達の救いに必要なものとして定められた二つの聖餐である「洗礼」と「聖餐」を、聖公会は何よりも大切なものとして守ってきました。

この度の改正は、「聖奠的諸式である堅信」を聖餐にあずかる条件にすることをやめ、洗礼を受けて神の民とされた人は、「聖餐の交わりを迎え入れられる(陪餐できる)」とすることで、初代教会の考え方を回復することに重点を置いていきます。

実は私は堅信年齢の低年齢化が望ましいと思っていましたので、総会では、この改正に賛成票を投じませんでした。今後、堅信前の陪餐が実施されるに従って、様々な課題が生じるとも思っています。

しかし、この度の改正は、成年となった未堅信者に再度アプローチする機会にもなり得ます。また、十代前半で堅信を受けるとき、献金も含めて、信徒としての

責任についての理解が、どうしても不十分になることは否めません。

未受洗の子どもに、未聖別のパンを渡すようなことは、混乱を大きくします。初陪餐、堅信と節目が増え、丁寧な教育・訓練を行う機会が増えたことと捉えることが大切だと思っています。

(岡山聖オーガスチン教会
牧師司祭パウロ上原信幸)

広島平和礼拝 Tシャツのご案内

広島平和礼拝は2005年から始まり、今年で12年目になります。今年も皆さまと平和について共に祈り、



(Tシャツ 正面)

学ぶ時間を計画してまいります。(5月半ばには今年のご案内をお知らせいたしますので、是非、ご予定ください。)

さて、今年から広島平和礼拝のTシャツの色、デザインを新しくしましたので、ご案内申し上げます。新しいデザインは、前面に神戸教区のシンボルをプリントし、背面に【AUGUST 6. PRAYER FOR PEACE HIROSHIMA ONE STEP FORWARD】と言う文字と鳩が一歩前に飛んでいる様子をプリントしています。詳しくは左の写真をご覧ください。

背面デザインの文字の意味は、1945年8月6日に広島で原子爆弾が投下され、理不尽な状況の中



(Tシャツ 背面)

で亡くなられた方々がおられることを覚えて、毎年、原爆逝去者記念聖餐式をおこなっています。私たちはそのことを風化させることなく、キリストの平和の実現のために用いられることを願って、ともに学び、行動し、祈ろう。そして一歩前へと広島平和礼拝のスローガンを込めています。

一歩前に飛んでいる鳩のイラストは、平和の象徴である鳩をデザインの中心にして、戦争を知らない世代や平和に関心のない方にもキリストの平和を広げていき、これからも共にキリストの平和に向かって歩み出していきたいという意図を持っていきます。

Tシャツの色はネイビーとライトピンクの二色から選んでいただけます(写真はネイビーです)。値段は一枚1500円。枚数に限りがございますが、是非ご検討、ご購入の程、よろしくお願いたします。

(お問い合わせ先)
TEL 082・227・1553
広島平和礼拝実行委員長
司祭 長田吉史 まで

鳩だより

《敬称略》

祝 洗 礼

2月26日(日)

マリア草野 茜紀子
神戸昇天教会

初 陪 餐

2月26日(日)

マリア草野 茜紀子
神戸昇天教会

祝 堅 信

2月26日(日)

テモテ大塚 僚
ナオミ村上 諭子
神戸聖ミカエル教会

ご 逝 去

2月9日(木)

ミリアム 松岡 昌子
岡山聖オーガスチン教会

2月12日(日)

モニカ 余田 喜久子
神戸聖ミカエル教会

神戸伝道区

2月15日(水) 10時半から午後2時まで、神戸聖ミカエル大聖堂で、昨年12月31日に108歳で逝

去された、ナザレ修女会のアゲネス八千代修女の逝去記念聖餐式が行われました。また昨年10月5日(水)に行う予定でしたナザレ修女会友会は、台風のため中止になりましたが、今回、合わせて行うことが出来ました。
八千代修女の魂の平安を祈ると共に、わたしたちが集められたことを感謝します。

教区宣教委員会からのお知らせ

教区宣教委員会は、1月10日(火)、境復活教会を訪問して、宣教についての懇談会をし、よい提案が出来ました。
宣教委員会との懇談会を持ちたいという教会がありましたら、小林司祭までお知らせください。日程を調整して参ります。

小林 司祭
TEL 088・652・2481
徳島インマヌエル教会

第86(臨時)教区会報告

去る3月4日(土) 11時から神戸聖ミカエル大聖堂で、神戸教区

第86臨時教区会が開かれ、次期神戸教区主教選挙が行われました。次期主教候補として、現在京都

教区立ウイリアムス神学館館長であるヨハネ吉田雅人司祭と姫路頭栄教会牧師のヨハネ芳我秀一司祭が、それぞれ推薦人によって推薦

されました。しかし、32回の投票を行いました。両者に当選に必要な票を得られなかったため、教区内の選挙で次期主教を確定することは出来ませんでした。これに伴い、管区臨時総会が6月17日(土)に日本聖公会センター(牛

込聖バルナバ教会)で開かれ、各教区の主教及び聖職代議員と信徒代議員によって、神戸教区次期主教選挙が行われることになりました。そこで推薦人によって、次期神戸教区主教候補者が挙げられ、選挙されます。

管区臨時総会で、神戸教区に相応しい主教が選ばれますよう、お祈りください。(浪花 記)

中村 豊主教 感謝の会

3月5日(日)、メルパルク広島にて広島復活教会主催で「中村豊主教感謝の会」を開催いたしま

した。他教派、他教会、ボーイスカウト、ガールスカウトの関係者、また遠方からの方も含め、約150名の方々にご出席いただき、中村豊主教様やご家族の皆さまと共に盛大なお祝いをする事ができました。

会の中では、ご家族からの挨拶や信徒さんからの中村豊主教様のこれまでのお働きに対する感謝の言葉などが述べられ、また趣向を凝らした余興もおこなわれ、終始楽しい会となりました。お忙しい中、ご出席いただきました皆さまにはこの場をお借りしまして、深くお礼申し上げます。

(聖職候補生 遠藤洋介)



5月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2017年5月11日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 司祭 瀬山 公一
説教 司祭 平野 一郎

* 5月の記念逝去教役者

2日	司祭	覚前政蔵
5日	宣教師	ヴァイオレット
6日	司祭	吉本要太郎
10日	司祭	フランク ウェストン
14日	伝道師	マリヤ 松山初子
16日	伝道師	パウロ 韓代 欽一郎
19日	司祭	パウロ 八長澤 四吉
22日	司祭	ペテロ 長村 大塚 豊吉
24日	司祭	ヨハネ 大末 吉磐 吉雄
24日	司祭	パウロ 阪村 賀田 千秋
26日	司祭	バルナバ 與賀 田 千秋
27日	司祭	バルナバ 與賀 田 千秋
28日	司祭	バルナバ 與賀 田 千秋
29日	司祭	アーネスト ハッチ ント
30日	宣教師	メイブル パーグ